

あらかまき

荒巻小学校 協働型学校評価の重点目標

- ・荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする子ども
- ・みんなのよさを見付ける子ども

の割合を80パーセント以上にする。

・児童数：333名 ・TEL：234-3379 ・ホームページアドレス <http://www2.sendai-c.ed.jp/aramaki/>

令和2年度 協働型学校評価アンケート結果のお知らせ

昨年12月に、保護者・児童・教職員を対象に実施した協働型学校評価アンケートの集計結果を御報告いたします。アンケート結果を受け、学校関係者評価委員の皆様からいただいた御意見を参考に、職員会議等で今年度の反省と次年度の方向性を検討いたしました。

今年度も333名もの保護者の皆様から御回答いただきました。御意見・御提言については、ほとんどが学校の教育活動への支持や応援などの温かい内容で、今後の励みとして大変感謝しております。一方、改善の御指摘については真摯に受け止め、今後の計画策定の参考にさせていただきます。

本校では、今回の結果を踏まえ、今後の指導と令和3年度の教育計画に生かしてまいります。御家庭でもお子さんのよりよい成長にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

- ※ 保護者アンケートの回答数は333名分で、回収率は約99%でした。
- ※ アンケート評価グラフの凡例は次のとおりです。(グラフの数字の単位はパーセントです。)

令和2年度 学校評価アンケート 結果(三者比較)

- ※ 児…児童 保…保護者 教…職員
- ※ アンケートの評価は以下のようになっています。

Aよくあてはまる
 Bややあてはまる
 Cあまりあてはまらない
 Dあてはまらない

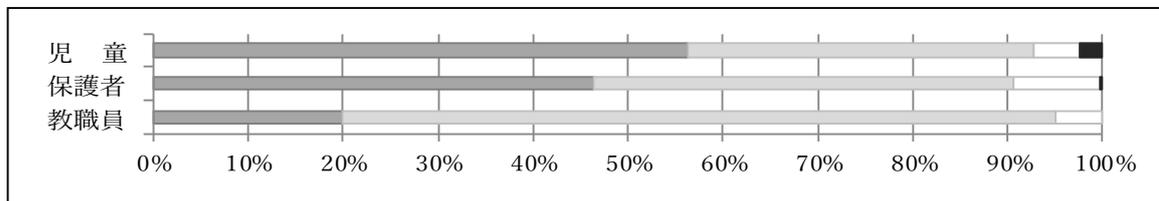
1 令和2年度 協働型学校評価重点目標

- ・荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする子ども
 - ・みんなのよさを見付ける子ども
- の割合を80パーセント以上にする

(1) 重点目標①「荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする」について

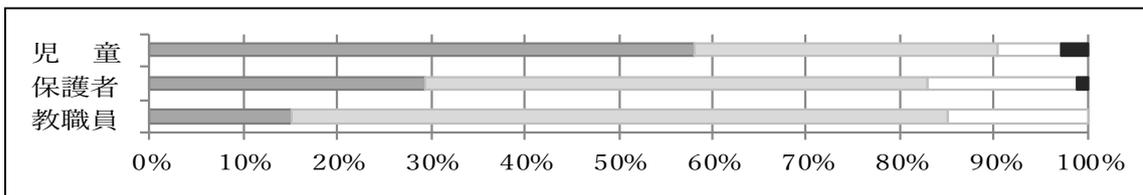
[設問 1-(1)] 家族・友達・先生方へのあいさつ

- 児：友達や先生に、進んであいさつをしている。
- 保：お子さんは、家族に進んであいさつをしている。
- 教：児童は、先生や友達に進んであいさつをしている。



[設問 1-(2)] 地域の方々へのあいさつ

- 児：ボランティアさんや地域の人に、元気にあいさつをしている。
- 保：お子さんは、ボランティアさんや地域の人に、元気にあいさつをしている。
- 教：児童は、ボランティアさんや地域の人に、元気にあいさつをしている。

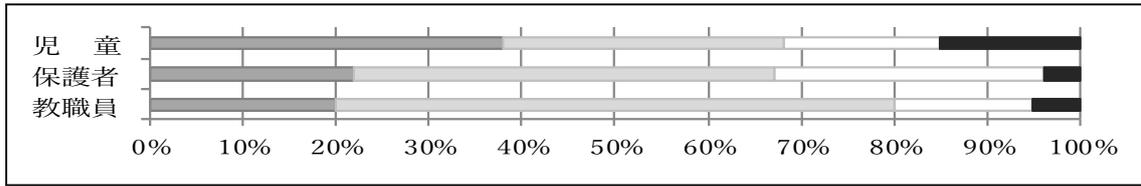


[設問 1-(3)] 地域の方々への感謝の気持ち

児：ボランティアさんや地域の人に、「ありがとう」と言っている。

保：お子さんは、ボランティアさんや地域の人に、「ありがとう」と言っている。

教：児童は、ボランティアさんや地域の人に、「ありがとう」と言っている。



「設問 1-(1)」「設問 1-(2)」…あいさつについては、児童・保護者の 80%以上が「A」「B」評価の回答となりました。特に、「設問 1」の友達や先生、家族に対するあいさつの結果がよかったのは、校内や家庭での取組の成果が表れたものと考えます。しかし、地域の方等へのあいさつについてはもう少しと考える保護者が 2割程度いました。

「設問 1-(3)」…児童と保護者について「A」「B」評価が 70%を下回りました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域との連携事業の多くが中止となり、支援が実感できなかったのではないかと考えられます。実際には見守り活動や消毒作業、芸術鑑賞教室の企画など、地域の皆さんにたくさん支えていただいています。児童の心に地域の皆様への感謝の気持ちを培っていけるよう、実感を伴って捉え、心を耕していく指導を行っていく必要を感じています。

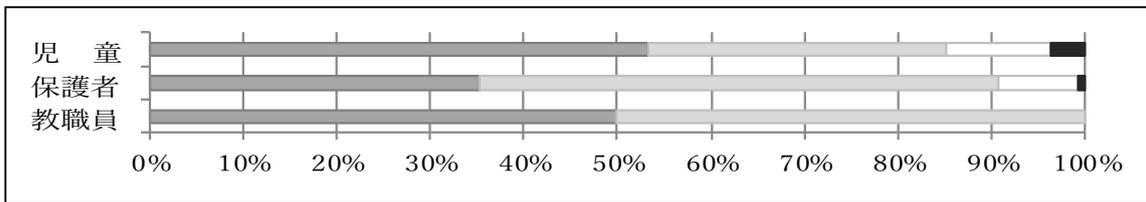
(2) 「みんなのよさを見付ける子ども」について

[設問 1-(5)] 互いのよさを見付け合う

児：みんなのよいところをみつけている。

保：お子さんは、周りの人のよいところを見付けることができている。

教：児童は、周りの人のよいところを見付けることができている。



「設問 1-(5)」…互いのよさを見付け合うことについては、三者とも「A」「B」が 80%を超えました。児童会を中心に「いいねカード」を書いたり紹介したりして、お互いのいいところを認め合う場を大切にしてきた成果の表れだと考えます。また、「起業教育」等、総合的な学習の時間での活動を通して自己実現ができたことも、子供たちの意識を高めていると思います。保護者の皆様や地域の皆様からもたくさん褒めていただき、ありがとうございました。しかし、「D」と回答した児童が 5%程度いるので、今後も引き続きお互いのよさを認め合う取組を行ってまいります。

2 学校教育目標「目指す児童像」

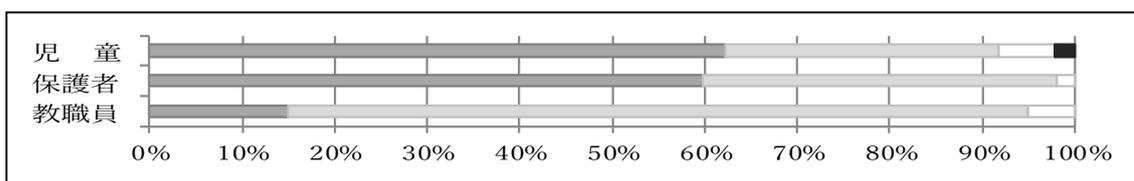
(1) 「やさしい子」について

[設問 2-(1)] …思いやりの心

児：友達にやさしくしたり、助け合ったりしている。

保：お子さんは、友達にやさしくしたり、仲良くしたりしている。

教：児童は、友達にやさしくしたり、仲良くしたりしている。

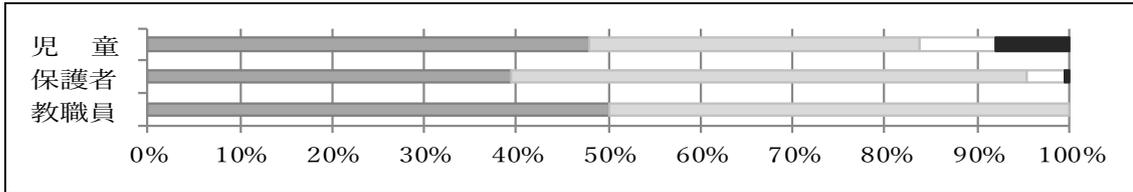


[設問 2 - (2)] …長所・自己肯定感

児：自分には、よいところがあると思う。

保：家庭では、お子さんのよさを認める声掛けをしている。

教：学校では、児童のよさを認める声掛けをしている。



「設問2-1」…三者とも「A」「B」の回答が90%を超えました。友達に優しくしたり、助け合ったりする姿は、異学年間でも見られます。「たてわり活動」等の異学年交流や児童会行事など、学年の枠を超えた取組の成果だと考えます。自由記述欄でも、たてわり活動についての高評価の記述が多く見られました。今後も思いやりの心を耕していけるように、優しさを育てる教育の充実を図っていきます。

「設問2-2」…三者とも「A」「B」の回答が80%を超えました。とりわけ、児童について昨年度は71%にとどまっていた「A」「B」が今年度は84%になり、13ポイントもの上昇がみられました。コロナ対策で多くの我慢を余儀なくされた今年度、子供たちは例年よりもたくさん頑張ってきたのだと思います。また、臨時休業期間等に自分を見つめ直したり、自分が日常的に行ってきたことが実は素晴らしいことだったと気付いたりしたこともあったのではないかと思います。しかし「自分にはよいところがない」と思っている児童が8%程度います。「自己肯定感」「自己有用感」の向上は仙台市の課題でもありますので、今後も子供たちが自己実現を図れるよう、粘り強く励まし続けていきたいと思っています。

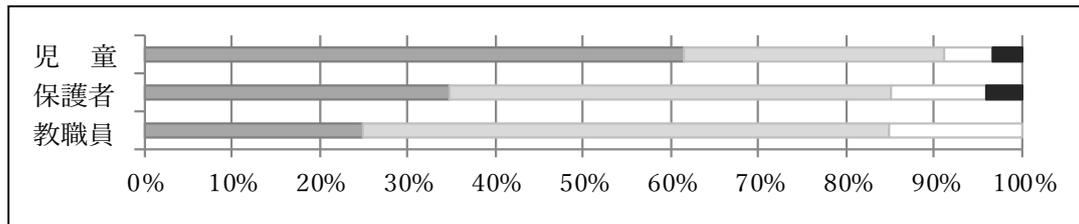
(2) 「かしこい子」について

[設問 2 - (3)] …学習への取組

児：授業では、先生や友達と楽しく学習に取り組んでいる。

保：家庭では、お子さんの考えを引き出すような問い掛けを心掛けている。

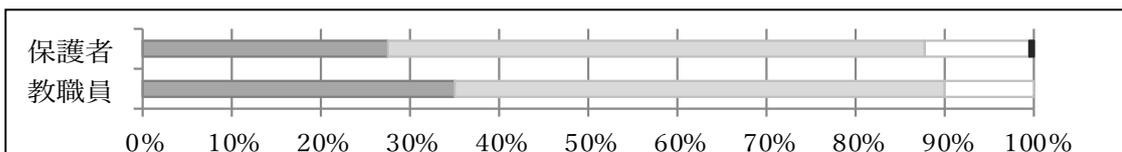
教：学校では、児童の考えを引き出すような問い掛けを心掛けている。



[設問 2 - (4)] …児童への問い掛け

保：家庭では、お子さんの考えを引き出すような問い掛けを心掛けている。

教：学校では、児童の考えを引き出すような問い掛けを心掛けている。

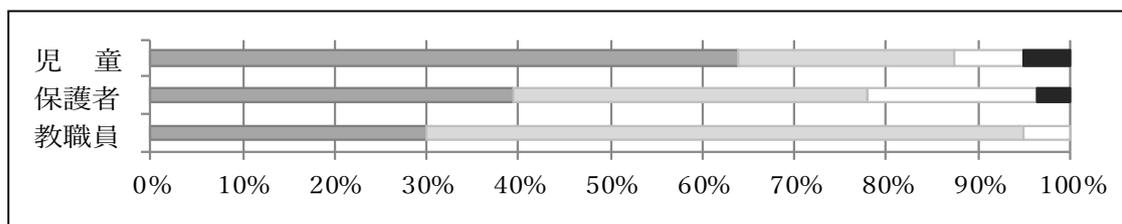


[設問 2 - (5)] …宿題・家庭学習への取組

児：宿題や家庭学習に、進んで取り組んでいる。

保：お子さんは、宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。

教：児童は、宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。



「設問2- (3)」…三者とも「A」「B」評価の割合が80%を超えました。特に児童は「A」評価が60%を超えており、多くの児童が楽しく授業に臨んでいることが分かりました。しかし、逆に「D」評価も一定数おり、学習意欲の二極化が見られます。どの子ども分かる授業について、職員で研修を深め、どの子ども楽しいと感じられる授業づくりを行っていきたく考えます。

「設問2- (4)」…日頃から保護者も職員も考えを引き出すような働き掛けを意識しており、児童の学習意欲の向上につながっているようです。学習意欲は、学力向上の土台となりますので、今後も学習意欲の喚起を図れるような取組を行っていきます。

「設問2- (5)」…児童、教職員は「A」「B」評価の割合が90%程度になりましたが、保護者は80%には届きませんでした。児童と保護者の意識に若干ずれがあり、個人差も大きいようです。望ましい学習習慣・学習規律を身に付け、確かな学力を育成するためには、学校や家庭での学習に向かう姿勢が大切になります。毎年配付している「家庭学習のすすめ」の周知を図りながら、家庭学習が習慣化されるように、保護者との連携を一層深めたいと考えています。

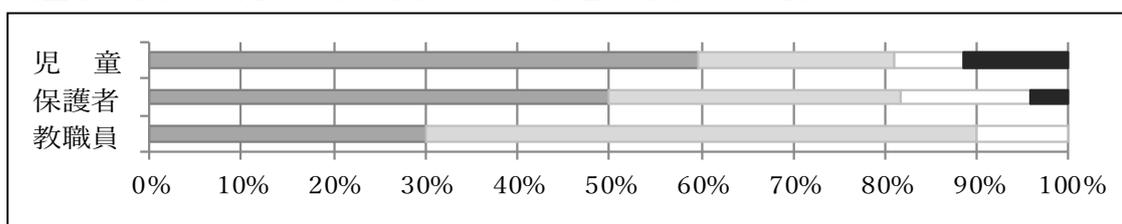
(3) 「たくましい子」について

[設問2- (6)] たくましさ …外遊び・スポーツの実施

児：晴れた日には、外で元気に遊んでいる。

保：お子さんは、日頃外で元気に遊んだり、スポーツをしたりしている。

教：児童は、日頃外で元気に遊んだり、スポーツをしたりしている。



「設問2- (6)」…三者とも「A」評価の割合が高く、「A」「B」を合わせると80%を超えました。多くの子供たちが外遊びを行っていることが分かります。新型コロナ対策も含め、外遊びを奨励したことも効果があったかもしれません。しかし外に出て遊ばないと回答した児童が10%以上おり、体を動かすことを好まない児童や、運動に苦手意識を持っている児童が一定数いると考えられます。

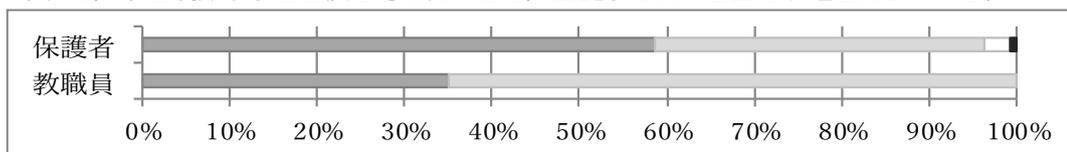
運動習慣の二極化や体力の向上は本校の課題の一つでもあるので、来年度は体育の授業で走る活動を取り入れることや外遊びの奨励、体力づくりの推進など、運動に親しむ機会の充実を図ります。また、延期になったオリンピック・パラリンピック教育を通して、運動の楽しさや喜びを味わわせていきたく考えています。

3 学校の取組（教育活動重点事項）について

(1) 「確かな学び」に関する取組について

[設問3- (1)] …基礎学力向上

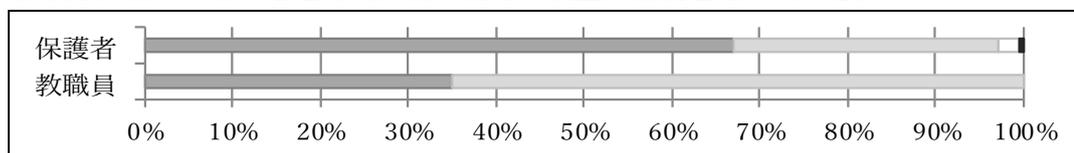
保・教：学校は、学習規律や学習習慣を身に付けさせ、基礎学力向上を図る取組を行っている。



(2) 「豊かな心」に関する取組について

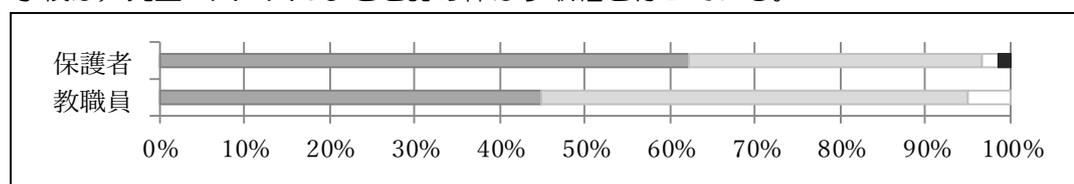
[設問 3- (2)] …思いやりの心の育成

保・教：学校は、思いやりの心を育て、皆のために役立つ活動を行っている。



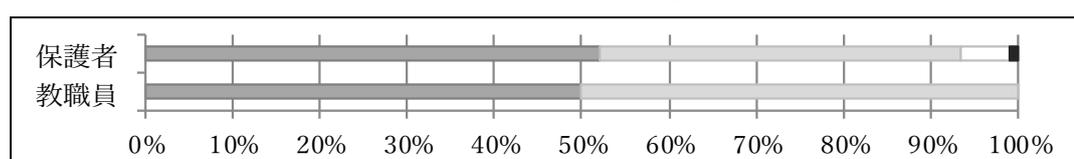
[設問 3- (3)] …自己肯定感・有用感

保・教：学校は、児童一人一人のよさを認め伸ばす取組を行っている。



[設問 3- (4)] …いじめの未然防止・早期発見

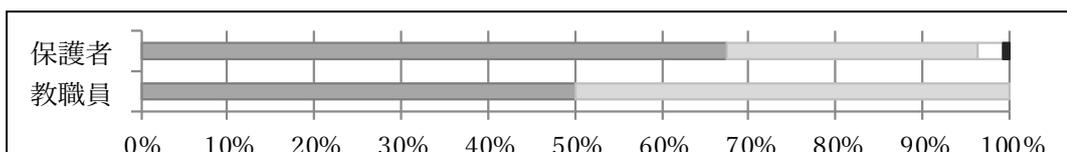
保・教：学校は、いじめの未然防止・早期発見に向けた取組を行っている。



(3) 「健やかな体」に関する取組について

[設問 3- (5)] …食習慣・運動習慣・生活習慣

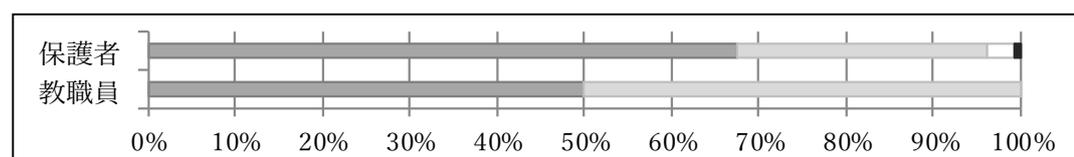
保・教：学校は、望ましい食習慣・運動習慣・生活習慣を身に付ける取組を行っている。



(4) 「地域や家庭との連携・協働」に関する取組について

[設問 3- (6)] …地域との交流・人材活用

保・教：地域の人々との交流や人材等を積極的に活用した教育活動を行っている。



学校の取組に関するすべての設問で、保護者の「A」「B」評価がほぼ95%以上となりました。特に設問3- (2) 「思いやりの心の育成」、設問3- (3) 「自己肯定感・有用感」、設問3- (5) 「望ましい食習慣・運動習慣・生活習慣」と設問3- (6) 「地域との交流・人材活用」については「A」評価の割合が高くなりました。

自由記述にもたくさんの好意的なコメントを寄せていただきました。児童会活動や異学年交

流、5・6年生の総合的な学習の時間「荒巻元気アップ作戦」などの取組が、多くの保護者の皆様から支持されているようです。本校の取組に対して、保護者の皆様から温かい励ましをいただき、大変うれしく感じています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染対策に実効性があるかなど、さらに踏み込んだ取組が必要だという御意見も頂戴いたしました。

4 成果と課題

(1) 成果

- 協働型学校評価重点目標「荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする」「みんなのよさを見付ける」に関しては、目標をおおむね達成することができました。
- ほとんどの設問で、児童の「A」「B」評価が80%以上となりました。
- 学校の取組については、保護者の皆様から一定の支持を得ることができました。今後も連携・協働した取組を推進していきたいと考えています。
- 昨年度と比較すると、ほとんどの設問で昨年度よりも高い評価となりました。新型コロナウイルス感染対策のための臨時休業期間や学習活動の制限を経験することによって、子供たちは日常の学びや友達との関わりの大切さを改めて感じたのではないかと考えます。つらい1年でしたが、子供たちは自分なりに考えを深めていたのではないかと思います。

(2) 課題

- ▼ 自己肯定感・自己有用感を高めるための更なる取組が必要です。
- ▼ ウイズコロナ、アフターコロナを見据え、児童の豊かな学びを実現するために学校は何ができるのかを考えた学習活動の在り方を探っていく必要があります。

5 学校関係者評価委員、学校評議員の皆様から

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校関係者評議員会、及び学校評議員会は紙上開催とさせていただきます。委員の皆様からたくさんの励ましのメッセージをお寄せいただいたので一部を御紹介します。

コロナ対策による学習環境の変化は、先生方、子供たちの大きな負担となっているので、地域住民として、少しでも平常に近い気持ちで学校に通い、学べる環境をつくっていかれたらと思っています。荒巻小の子供たちには挨拶の習慣がしっかりと根付いており、どこへ出しても恥ずかしくない子供たちだと思っています。学校はこのままよい状態でいられるように学校教育を進めていってください。

いじめ防止のために例年実施している「いいねカード」は大変有効だと考えます。何気ない日常の行動が褒められる、人は大変うれしいものです。学校・保護者・地域の見守りも、荒巻小学校では大きな役割を担っており、素晴らしいと思います。

来年度も協働型学校評価の重点目標を掲げられると思いますが、できることなら昨年度・今年度と同様の目標を立ててほしいと思っています。目指す目標が変わらずに掲げられ、繰り返し示唆されることによって、習慣化されて身に付いていくことを期待するものであります。

コロナ禍で子供たちに影響が出ているかと心配しましたが、アンケート結果からは感じられませんでした。先生方の荒巻小学校の教育目標を日頃より実践されている結果と、敬意を表すとともに地域として感謝申し上げます。

12月実施の教育活動に関するアンケートのうち、学校評価アンケートの結果（三者比較）を拝見いたしました。子供たちや家族、先生方、それに地域の方々に対するあいさつがそれぞれ80%を超えていることに安心いたしました。ただ、地域の方々に対する感謝の気持ちを伝える「ありがとう」を言うことにおいては、子供も親も70%を下回りました。コロナ禍中で地域の人々と接する機会が例年よりもずっと少なかったため、ありがとうと言えたかどうか実感ができなかったのではないかと考えております。ですから、もしその機会があったとしたら、きっとありがとうは言えていたんだと確信しているところです。

みんなのよさを見付けることについては、児童会中心の「いいねカード」の活用が機能し、目標の80%を超えているということで、今後も活用を継続されることを望みます。また、Dと答えた5%程度の児童にも、「なぜそういうことをするのか」を教えながら引き続き取り組んでいただきたいと思います。

総じて、荒巻小学校では先生方が本気で子供たちの指導に向き合っていて、それに子供たちが答えているように感じられ、とてもうれしく思っています。次年度もよろしくお願いいたします。

コロナ禍での学校教育は、単なる勉強だけでなく、これまで以上に気を配ることが多く、大変な1年であったかと思えます。また、子供たちが地域の方々と触れ合う機会も少なくなりました。そんな中でも子供たちの「よさ」や「個性」を引き出すために今までと同じように実施できたもの、やむを得ず取りやめたもの、これまでとは違った方法で実施したものなど、様々な工夫をされていたように思います。

これまでのところ、荒巻小学校で新型コロナウイルス感染症に感染した児童はおりません。各家庭の対策、そして学校の予防対策のおかげだと思えます。

一点だけ気になるところは、子供たちがのびのびと自由に活動できるイベントが少なくなって1年が経過し、子供たちがどう感じているのかという点です。ストレスに感じているのではないのでしょうか。令和3年度も予防対策を講じた上での活動になるかと思えますが、引き続きよろしくお願いいたします。

Googleアカウントが全児童に配付されました。大変便利であるとともに、危険が隣り合わせであることを、防犯上危惧しております。個人情報が入り込んだり、子供たちが危険な目に遭ったりしないか心配です。我々防犯協会は、これからも子供たちの安全のために見守り活動を行ってまいります。インターネットの中を見守ることはできません。インターネットの使用については、各家庭でしっかりとチェックする必要があると思えます。家庭でのパスワードの保管をきちんと行い、子供の安全を守ってほしいと思えます。

子供たちは、新しいルールに慣れ、今までなかった制限のある中我慢をして、一生懸命に頑張っています。なかなか学校での生活を見ることができず、不安や不満をお持ちの保護者の方もいらっしゃると思いますが、私は、他校の保護者の方から「行事があつていいね。うちは、今年は行事が少ないから、学校の様子が全然分からない。」と言われたことがあります。

昨年6月に学校が始まってから、先生方は「できないのではなく、どうやったらできるのか。」を考えてくださり、いろいろな工夫をして、この状況の中様々な行事を行っていただきました。

子供たちが、安心してもっともっと楽しく学校生活を送ることができようにわたしたち保護者は先生方と協力して、まだまだ続くコロナと戦って行かなければならないと思えます。

コロナ禍による制限の中、様々な行事を工夫しながら実行していただきありがとうございました。

「学校だより」で様々な行事について御報告いただいております。たくさん見学したかったのですが、できなかったことは残念でした。保護者アンケートでは、学年ごとの成長を感じさせられました。地域と学校がいつも子供たちを見守っていることは、子供たちの心の安心につながります。自己肯定感をプラスにして、人間として強く成長することを期待します。

これからも、地域と学校がよい関係を保つために、ともに協力と話し合いを続けていかななくてはならないと思います。みんな荒巻が大好きですから。

今年度の学校教育目標であります「夢を持って、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成～笑顔あふれる楽しい学校～」に沿って、学校を運営されていると思います。学校評価アンケートの結果、「気持ちよくあいさつする子ども」や「みんなのよさを見付ける子どもの割合を80%以上にする」などの項目は、「A」「B」が80%以上と高い評価を受けており、重点目標は概ね達成していると思います。特に「いいねカード」の取組はすばらしく、これからも継続して取り組んでいただければと思います。

また、アンケートの最後に課題が記述されていますが、人には誰でも得手・不得手があり、少しでも自分の得意とするものやよいところを見付けられれば「いじめ防止」にもつながると思いますので、自己肯定感、自己有用感を高める取組は大切だと考えます。そして、毎年震災遺構である荒浜小学校を訪ねる活動は、今年で震災10年を迎える節目も年でもありますし、学年発表会にも演目として取り上げて貴重な活動になったと思います。

最後に、今後もコロナ禍の中で難しい学校運営が続くと思われるので、子供たちのため、地域のため、校長先生を始め先生方の奮闘を期待しています。

大変心温まる御意見をたくさん頂戴いたしました。特に多かったのが、コロナ対策といじめ対策についての御意見でした。いただいた御意見を参考にしながら、よりよい教育活動を行っていくことができるように努めます。

6 来年度にむけて（協働型学校評価重点目標）

（1）「荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする子ども」

- ・ 相手に伝える意識を持ってあいさつをすることを通して、望ましいあいさつの更なる習慣化や伝える力の育成を目指します。

（2）「みんなのよさを見付ける子ども」

- ・ 保護者や職員の取組に加え、児童同士がお互いによさをもっと見付け、認め合うことで、自己肯定感・自己有用感の育成や学習意欲の喚起を目指します。

いただいた御意見を参考にしながら、次年度はさらによりよい学校になるよう職員一同努力してまいります。地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、さらなる御支援を賜りますようお願い申し上げます。